

# MobiFren 取扱説明書



最初にご確認ください

セット内容

## GBH-S300

- ヘッドセット本体 ..... 1個
- イヤホン ..... 1個
- ネックストラップ ..... 1個
- USB充電ケーブル ..... 1個
- クリップ ..... 1個
- 取扱説明書(本書) ..... 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## 特長

- microSDカードを挿入してMP3プレーヤーとしても使えるBluetoothステレオヘッドセットです。
- Bluetooth対応の携帯電話でハンズフリー通話や高音質な音楽・ワンセグの音声が楽しめます。
- Bluetooth対応のパソコンでSkypeなどのIP電話や音声チャット、または高音質な音楽がワイヤレスで楽しめます。
- Bluetoothオーディオアダプタと組合せて使用すれば、オーディオ機器やパソコンの音楽が高音質で楽しめます。
- SCMS-T方式で保護された音楽やワンセグの音声にも対応しています。
- Bluetooth Ver2.1+EDR準拠で更なる省電力化を実現しました。

デバイス名	MobiFren GBH-S300
パスキー	0000 (ゼロ4つ)

## 1.お使いになる前に

### ■セット内容

<p>本体</p>	<p>イヤホン</p>	<p>ネックストラップ</p>
	<p>USB充電ケーブル</p>	
<p>クリップ</p>	<p>取扱説明書</p>	

## ■クリップ・ネックストラップ



〈クリップで止めて使用〉



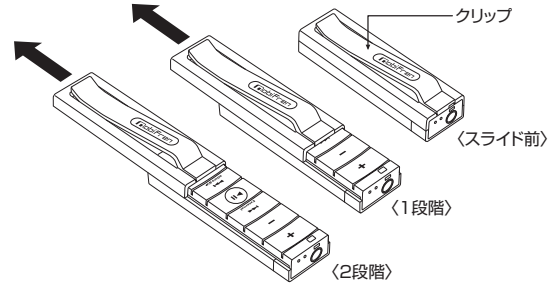
〈首にかけて使用〉

ネックストラップで使うときは、下図のようにイヤホン®をストラップの後部先端に通して使うと便利です。

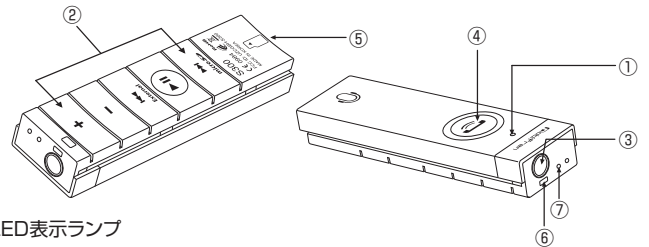


## ■クリップを使ったHold機能(誤作動防止)

2段階にスライドするクリップが、1段階ではボリュームボタンのみ使用可能で2段階ではすべてのボタンが使用可能です。



## ■各部の名称・説明



① LED表示ランプ

② 操作ボタン

▶▶:再生/一時停止/止

▶:次の曲(短く押し)、早送り(長く押し)

◀◀:前の曲(短く押し)、巻戻し(長く押し)

+ :ボリュームアップ

- :ボリュームダウン

③ 3.5φステレオミニジャックイヤホン接続、充電用

④ MFBボタン(多機能ボタン)

⑤ microSDカードスロット

⑥ ストラップホール

⑦ マイク

## 2.使用方法

### ■充電

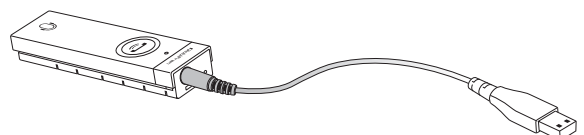
購入後、初めてご使用のときは、バッテリーを完全に充電してからご利用ください。

① 付属のUSB充電ケーブルをパソコンに接続してください。

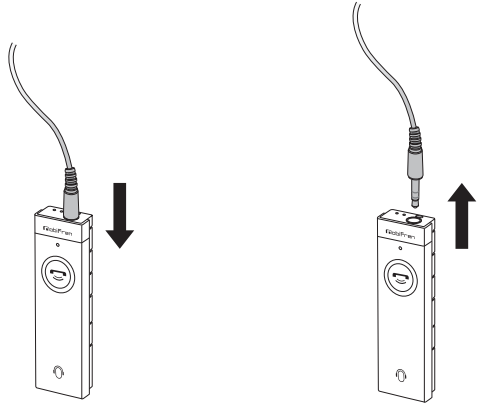
② 充電中は赤のLEDが、充電が終了すると青のLEDが点灯します。

### ■充電の際のご注意 一必ずお読みください一

- ・充電には付属のケーブル以外を使用しないでください。
- ・バスパワータイプのUSBハブを使用した場合、正常に充電されないことがあります。必ずパソコン本体のUSBポートかセルフパワータイプのUSBハブをご使用ください。
- ・USB充電ケーブルでパソコンに接続すると充電/ポータブルディスクとして使うことができます。(充電のみ行う場合、MFBボタンを押した状態でUSB充電ケーブルをパソコンに接続するとポータブルディスク画面は表示されません。)
- ・ポータブルディスクは容量や使用環境によって速度の違いがあります。



## ■ ヘッドセットのON/OFF



### 【ON】

MFBボタンを2秒間押す。  
またはイヤホンを挿入する。  
電源が入り、青LEDが点滅します。(購入後、初めて電源を入れるとヘッドセットは自動的にペアリング状態になります。)

### 【OFF】

MFBボタンを4秒間押す。  
またはイヤホンをはずす。  
紫LEDが点灯し電源が切れます。  
※イヤホンをはずした場合は、約30秒後に自動的に電源が切れます。

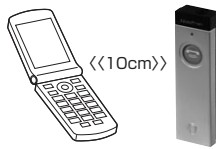
## 3. ペアリング方法

ヘッドセットを使用するためにはまず、携帯電話にヘッドセットの登録(ペアリング)が必要です。

携帯電話で通話するには「ハンズフリー(HFP)」で接続してください。  
音楽やワンセグの音声を聴くには「オーディオ(A2DP)」で接続してください。  
★同時に両方を接続することも可能です。

### ① ヘッドセットペアリングモード設定 (隣接自動ペアリング)

ヘッドセットと携帯電話を簡単にペアリングする機能として、ペアリングする機器をヘッドセットと10cm以内に置くと、自動で登録できる機能です。



※この機能は携帯電話によって対応しない場合があります。

### 購入後、初めての登録(初期ペアリングモード)

ヘッドセットの購入後、初めての登録の際、MFBボタンを2秒間押して電源を入れます。電源が入ると5秒ごとに赤と青LEDが交互に点滅する「隣接自動ペアリング」状態に切り替わり、他の機器と接続することができます。

### ヘッドセットの再登録や他の機器に登録する場合

ヘッドセットの電源が入っていない状態で、MFBボタンを約6秒間押すと、電源が入り、5秒ごとに赤と青LEDが交互に点滅する「隣接自動ペアリング」状態に切り替わり、他の機器と接続することができます。

- 隣接自動ペアリングは45秒間持続し、携帯電話が暗証番号(パスキー)を要する場合は0000を入力します。  
隣接した機器が45秒以内に自動ペアリングできないと一般ペアリング状態に切り替わります。その機器は自動ペアリングに対応しない機器ですので「一般ペアリング」にて機器登録を行ってください。
- ペアリングが成功するとヘッドセットは待機状態に切り替わります。  
※「隣接自動ペアリング」状態で、ヘッドセットのMFBボタンを1秒間押すと、青LEDが点灯する「一般ペアリング」モードにいつでも切り替えられます。

## ■ 一般ペアリングモード

ヘッドセットの電源が入っていない状態で、MFBボタンを約6秒間押すと、電源が入り、LEDが5秒ごとに赤と青交互に点滅する「隣接自動ペアリング」状態に切り替わります。この時MFBボタンを1秒間押すと、青LEDが点灯する「一般ペアリングモード」に切り替わります。

- 隣接自動ペアリングに失敗したときや隣接自動ペアリング中、ヘッドセットのMFBボタンを1秒間押すとペアリングモード(Paring mode)との音声案内とともに「一般ペアリングモード」(青LEDが点灯)に切り替わります。
- 携帯電話の案内にしたがって、携帯電話で本製品を登録します。  
※「一般ペアリング」状態で、3分以内に登録しないと「一般ペアリング」状態が解除されます。

## ■ 携帯電話とのペアリング・接続方法

### (例)NTT docomo P-01Aの場合

- ヘッドセットを一般ペアリングモード(LEDが青点灯)にします。
  - P-01Aの「メニュー」ボタンを一回押します。
  - 「Life kit」を選択します。
  - 「Bluetooth」を選択します。
  - 「登録機器リスト」を選択します。
  - 「サーチ」を選択します。
  - 「MobiFren GBH-S300」を選択します。
  - 「YES」を選択します。
  - P-01Aの暗証番号(初期設定は「0000」)を入力します。※求められない場合もあります。
  - 「確定」を押します。
  - Bluetoothのパスキー「0000」を入力します。
  - 「確定」を押します。
- 以上でペアリングは完了(LEDが青に点滅)です。
- 通話の場合は「ハンズフリー」を選択し、「接続」を押します。  
続けて「オーディオ(音楽再生)」を接続する場合は「オーディオ(A2DP)」を選択します。

以上で「ハンズフリー(HFP)」と「オーディオ(A2DP)」の接続が完了です。

## ■ マルチポイントの設定

本製品は、同時に2台の携帯電話での待受けが可能です。  
※すべての携帯電話との接続動作を保証したものではありません。  
※オーディオ接続は1台のみとなります。

- 項目3を参考に1台目の携帯電話とペアリングし接続した後、ヘッドセットの電源をOFFにし、再度1台目と同様に2台目の携帯電話とペアリングし接続してください。
- ヘッドセットの電源をOFFにしてください。
- 再度ヘッドセットの電源をONにすると、2台の携帯電話と接続ができ、同時待受けが可能になります。

## ■ 機器との再接続について

一度ペアリングすると、機器の電源をOFFにしても設定が残ります。再度電源をONにすると、最後に接続されていた機器と自動的に接続され使用できます。使用できない場合は、MFBボタンを押すか、接続または再度ペアリングを行ってください。

## 4. 通話時のボタン操作

※機種により下記の一部の機能が使えない場合もあります。

### ① 電話をかける

携帯電話の機種によっては、通話開始後にヘッドセットへの切替え操作が必要です。  
※機種により自動的に切替わるものや自動的に切替わるように設定できるものがあります。  
※携帯電話からの操作・設定については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

### ② 電話に出る

電話がかかったとき、MFBボタンを押すと電話に出ることができます。  
音楽鑑賞中もMFBボタンを押すと電話に出ることができ、通話が終わると再び音楽が再生します。  
ヘッドセット通話中、イヤホンをはずすと通話は携帯電話に切り替わります。  
携帯電話で通話の際、イヤホン挿入してMFBボタンを短く押すと通話はヘッドセットに切り替わります。

### ③ 通話の終了

MFBボタンを短く押すと通話が終了します。

### ④ 着信を拒否する

「ビツ」という音が鳴るまでヘッドセットのMFBボタンを長押しします。  
この際、携帯電話の設定状態によって、相手方に音声メッセージが流れます。

### ⑤ 通話の切替え

携帯電話での通話中、ヘッドセットのMFBボタンを押すとヘッドセット通話に切り替わります。(再度携帯電話での通話に切り替えるときは携帯電話のメニューを利用してください。)

### 携帯電話 ↔ ヘッドセット 通話切替え方法(通話中携帯電話側から)

docomo …………… 通話中に、「受話器上げボタン」を1秒以上押す。(P-01A取説より)

SoftBank …………… 「メールボタン」(通話中メニューボタン)→「音声切替え」選択→「本体/Bluetooth」選択(934SH取説より)

※常にヘッドセットで通話する場合、あらかじめ「メニュー」→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「マイデバイス設定」より「常にハンズフリー通話」をONにしてください。

au …………… 通話中に「Ez」ボタンを押すと、本体とヘッドセットの切替えができます。(CA004取説より)



## 8.よくある質問

### Q. ヘッドホンの音が聞こえません。また、音声入力ができません。(パソコンの場合)

- A. 1「スタート」→「コントロールパネル」→「サウンドとオーディオデバイス」を開きます。  
2「オーディオ」タブを選択し、「音の再生」「録音」のデバイスがBluetoothデバイスになっていることを確認してください。  
3「音声」タブを選択し、「音の再生」「録音」のデバイスがBluetoothデバイスになっていることを確認してください。

### Q. ヘッドセットとデバイスの通信距離は?

- A. 10mまでです。間にコンクリート壁などの障害物があると、通信距離は短くなります。

### Q. 使うたびにペアリング作業をする必要がありますか?

- A. いいえ。基本的には初回だけです。電源を切っても、ペアリングの設定は残りますが、機器によっては再度ペアリングを行ってください。

### Q. 電話とヘッドセットの接続が途切れたら、再接続する必要がありますか?

- A. 電話の機種によって異なります。自動的に再接続する機種と、そうでない機種があります。

### Q. ヘッドセットから雑音が聞こえる。

- A. 接続機器との通信範囲を超えたり、壁や人間の身体(接触した状態)などを挟むと雑音が入ります。

### Q. microSDカードが認識できません。

- A. 直接パソコンでフォーマットしてから使ってください。ヘッドセットに挿入した状態でフォーマットしないでください。

## 9.仕様

適合規格	Bluetooth Ver.2.1+EDR
周波数範囲	2.402~2.480GHz
伝送方式	FHSS
通信距離	最大約10m(環境によって異なります)
送信出力	Class2
電源	内蔵型リチウムポリマーバッテリー 充電時間:1.5時間 連続通話時間:最長6時間 連続音楽再生時間(外部機器再生):最長6時間 連続音楽再生時間(microSD再生):最長10時間 連続待受時間:最長200時間
サイズ・質量	W65xD18.5xH9.2mm:約11.5g
対応プロファイル	HSP(ヘッドセット)、HFP(ハンズフリー)、A2DP(オーディオ)、AVRCP
対応機種	Bluetooth対応のパソコン(*1)・携帯電話(*2)・オーディオ(*3) *1 HSP(ヘッドセットプロファイル)、またはHFP(ハンズフリープロファイル)に対応していること。 音楽再生の場合は、A2DP(オーディオプロファイル)に対応していること。 *2 パソコンがBluetoothに対応していない場合、Bluetooth USBアダプタまたは、Bluetoothオーディオアダプタをお使いください。 *3 Bluetooth対応携帯電話 通話の場合は、HFP(ハンズフリープロファイル)、またはHSP(ヘッドセットプロファイル)、音楽再生の場合はA2DP(オーディオプロファイル)に対応していること。 *3 オーディオにはBluetoothオーディオアダプタをお使いください。 最新情報は弊社WEBサイトをご覧ください。

\*実際の通信距離や使用時間は使用環境などによって異なります。

## 取扱い上の注意

### ■安全にご使用いただくために

- 自転車やバイク、自動車などの運転中に絶対に使用しないでください。交通事故の原因になります。運転以外にも、踏切や駅のホーム、道路、工事現場など周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。
- 歩行中に使用する場合は、周囲の交通に十分注意してください。交通事故の原因になります。
- 使用前に音量を最小にしてください。突然大きな音がすると、聴力を損なう恐れがあります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 内部に燃えやすいものや水などの液体がかかった場合は、使用を中止し、お買い上げいただいた販売店または弊社にご相談ください。そのままご使用になりますと、火災や故障および感電事故の原因になります。
- 内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対におやめください。また、内部を改造した場合の性能劣化については保証いたしません。
- 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。
- 小さいお子様には使用させないでください。

### ■ご注意

- 本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外のご使用にて損害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では使用しないでください。
- 高い安全性や信頼性が要求される機器や電算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。
- 飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。
- 必要以上に長時間の充電はしないでください。
- 電池(内蔵型リチウムポリマーバッテリー)は使用状況によって異なりますが、約300~400回繰り返し充電できます。十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご使用いただけない場合は、電池の寿命です。弊社では電池の交換を行っておりませんので、新しい製品をお買い求めください。
- 電池(内蔵型リチウムポリマーバッテリー)は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。
- 使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをお勧めします。本製品は、他のBluetooth機器からの接続要求にตอบสนองするため、常に電力を消費しています。
- 本製品を使用中に発生したデータの消失、機器の故障などの保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

## ■Bluetoothについて

- 本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の放射を停止してください。

## ■良好な通信を行うために

- 他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能な場合があります。
- Bluetooth対応のヘッドホン・ヘッドセット・スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続し使用した場合、音楽や音声が入りやすくなります。
- Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害が発生し、通信速度が低下したり接続不能になったりする場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

## 保証期間 6ヶ月

### 保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - ①保証書をご提示いただけない場合。
  - ②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書換えられた場合。
  - ③故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
  - ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - ⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 6)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 7)保証書は日本国内においてのみ有効です。


最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- よくある質問(Q&A)
- ドライバのダウンロード
- 各種対応表

など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから

▼サポートコーナーへ



ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

## サンワサプライ株式会社

2010.6現在

岡山サプライズセンター/〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123  
東京サプライズセンター/〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033  
札幌営業所/〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-811-3450 FAX.011-716-8990  
仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 5F 栄ビル TEL.022-267-4638 FAX.022-267-4633  
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区権町16-7 カジマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033  
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315  
福岡営業所/〒812-0002 福岡市博多区博多駅中央街8-20 第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078